

死ぬか、生るか、小作農民の血の叫びは崖、日向の山野にとどろく山畑や、野山^ノもするどく地主共の罵声を打ち砕くものであることを自覚は知つてゐるからた、大演習中は特別におとなしくとキツイ干渉だ、地主共はここぞと狙つて、立毛差押の高札をかつき過つてゐる。

楢一本でも地主の自由にさせるな！

若々は昨午あの大旱魃に見舞はれ、その箱手米た繰へない今年夏の大洪水で田はクサレ、又流されて、あそこ、ここと探し求めて一把十畝も其上もの苗代を拂つて漸く植付けたその楢が九月三度の大嵐と共に後の畝々としてイタメつけられてゐる。今年も牛作だ、新緑に心配苦勞を裏ねてヤツト惚らせたものをなんで地主の自由にさせてなるものか！楢一本でも小作人のものだ！
だが強慾地主は値かでも小作米の滞りがあると、情容敷もなく

裁判所に立毛差押の申請をやるした、裁判所は小作人の正しい主張を一番も聞くことをせず、一回の裁判をも聞かすに強慾地主の自ふか儘に、立毛差押の申請を許してゐる。立毛押を許す裁判所の決定書を得た地主が執達吏に執行を委任すると、さばつてはならぬ高札が立つのだ。

立毛差押を未然に防げ！

だから若々は立毛差押を未然に防ぐために地主と協見をやつて田の畦で小作米のマケヒキをさめるのだ、早良嶋山支部、筑紫水岡支部がやつた様にテキハキとやるのだ、だがそれかろまく行かない時は支部全員で争議團を組織し互ひに次の如き役割をきめ直に部首を守つて一分のスキもない争議組織を固めよ。

争議團長―争議團内部の指揮統制と外部に對する責任者だ。

争議團の経過、争議を記録せよ